

第22期（2007年3月期）

# 決算補足説明資料

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

- 会社概要、 グループ会社概要
- 【連結】 第22期（2007年3月期）決算概況
  - 業績の概況
  - セグメント情報
- 【個別】 第22期（2007年3月期）決算概況
  - 業績の概況
  - セグメント情報
- 2007年度通期業績予想
- 中長期事業計画への取組み状況

- 名称：サイバネットシステム株式会社（東証一部4312）  
Cybernet Systems Co., Ltd.
- 本社：東京都文京区大塚2-15-6
- 支社：西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- 設立：1985年4月17日
- 資本金：995百万円
- 社員数：2007年4月1日現在  
連結 427名（前年同期比+61名）  
個別 344名（前年同期比+49名）  
（グループ計 455名 前年同期比+79名）
- 事業内容：CAEソリューション及びネットワークソリューション  
の提供、各種コンサルティングの提供

## グループ会社の概要（国内）

CYBERNET

- (1) 株式会社ケイ・ジー・ティー（2005年4月経営参画）  
事業内容：可視化ソフトウェアの開発・販売  
ネットワーク関連ソフトウェアの販売・サポート  
資本金：1億円（当社所有比率 100%）  
社員数：67名  
※連結子会社
  
- (2) 株式会社プラメディア（2005年8月経営参画）  
事業内容：樹脂流動解析、成形解析ソフトウェアの開発・販売、  
受託研究、高分子材料の物性・成形性に関する研究開  
発、ソフト開発  
資本金：45百万円（当社所有比率 95%）  
社員数：16名  
※連結子会社

## グループ会社の概要（海外）

CYBERNET

### (3) 西希安工程模擬軟件(上海)有限公司 (2004年12月設立)

(略称：CCA)

事業内容：機械系CAEに関するコンサルティング、受託解析

資本金：250,000USドル（当社所有比率 56%）

社員数：14名

※非連結子会社

### (4) 莎益博設計系統商貿(上海)有限公司 (2006年8月設立)

(略称：CCS)

事業内容：電子系CAEに関するコンサルティング、受託解析

資本金：700,000 USドル（当社所有比率 100%）

社員数：14名

※非連結子会社

## 連結業績の概況

# 第22期（2007年3月期）決算概況

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

# 第22期（2007年3月期）の業績概況

（単位：百万円）

	2005年度		2006年度				
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	修正計画	計画比
売上高	17,399	—	18,998	—	109.2%	19,200	98.9%
売上総利益	6,371	36.6%	7,308	38.5%	114.7%	7,300	100.1%
営業利益	2,301	13.2%	2,540	13.4%	110.4%	2,440	104.1%
経常利益	2,548	14.6%	2,827	14.9%	111.0%	2,620	107.9%
当期純利益	1,503	8.6%	1,516	8.0%	100.9%	1,380	109.9%

当期の連結業績は中間決算発表時の業績予想に対し、売上高は98.9%（前年比9.2%増）と未達であったものの、経常利益は107.9%（前年比11.0%増）、当期純利益は109.9%（前年比0.9%増）とそれぞれ達成することができました。また、経常利益は期初計画も達成することができました。

※修正計画は、連結子会社が期初に想定していた大口顧客との取引を当下期から失ったことに加え、当社が2007年度第1四半期に予定している本社事務所移転に係わる費用を引当計上することとなったため、中間決算発表時に通期業績予想を修正したものです。

# 損益計算書の概要

(単位：百万円)

	2005年度 通期	2006年度 通期	前年比	計画比	内訳（前年比）
売上高	17,399	18,998	109.2%	98.9%	
売上原価	11,027	11,690	106.0%	98.2%	商品原価+442、製品製造原価+45、技術サービス原価+173
売上総利益	6,371	7,308	114.7%	100.1%	
販売費及び一般管理費	4,069	4,767	117.2%	98.1%	
営業利益	2,301	2,540	110.4%	104.1%	
営業外収益	249	287	115.1%	159.8%	資金運用利息等+4、為替差益+24（160 → 184）、 助成金収入+17（KGT国プロジェクト）
営業外費用	3	0	23.9%	—	
経常利益	2,548	2,827	111.0%	107.9%	
特別利益	—	8	—	—	固定資産売却益+8
特別損失	50	227	447.2%	—	固定資産除却損△44、CCA出資金評価損+13、退職給付費用 原則法移行時差異+30、本社事務所移転費用引当金+178
税金等調整前当期純利益	2,497	2,608	104.4%	107.8%	
法人税等	994	1,093	109.9%	105.1%	
少数株主損益	0	1	—	—	
当期純利益	1,503	1,516	100.9%	109.9%	



## 販売費及び一般管理費の概況

(単位：百万円)

	2005年度 通期	2006年度 通期	増減	前年比	売上比	内容
人件費	1,884	2,338	454	124.1%	12.3%	増員38名（サイバネット+32名、KGT+6名）
通信費	155	181	25	116.2%	1.0%	
旅費交通費	209	254	44	121.5%	1.3%	
備品消耗品費	85	108	22	126.1%	0.6%	
募集採用費	72	95	23	132.8%	0.5%	採用紹介料
教育研修費	52	52	△0	99.6%	0.3%	
家賃	274	273	△1	99.5%	1.4%	
保守費	29	36	6	121.7%	0.2%	
減価償却費	120	109	△11	90.3%	0.6%	Epiplex独占販売権償却△13
広告宣伝費	480	477	△3	99.3%	2.5%	MATLAB EXPO△30
業務委託費	285	314	28	110.1%	1.7%	派遣社員増員
支払手数料	156	196	39	125.0%	1.0%	内部統制関連等
のれん償却	—	110	110	—	0.6%	京浜アートワーク+43、KGT+21、プラメディア+46
連結調整勘定償却額	44	—	△44	—	0.0%	KGT△21、プラメディア△23
その他の経費	216	219	3	101.5%	1.2%	
合計	4,069	4,767	698	117.2%	25.1%	

# 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	繰延 ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日 残高	995	909	7,899	△ 746	9,057	69	—	69	2	9,128
当期連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 459		△ 459			—		△ 459
役員賞与			△ 60		△ 60			—		△ 60
当期純利益			1,516		1,516			—		1,516
自己株式の処分			△ 47	70	23			—		23
株主資本以外の項目の当期連結会計期 間中の変動額（純額）						△ 3	△ 15	△ 19	△ 1	△ 21
当期連結会計期間中の変動額合計	—	—	949	70	1,020	△ 3	△ 15	△ 19	△ 1	999
平成19年3月31日 残高	995	909	8,849	△ 676	10,077	65	△ 15	49	0	10,127

自己株式の処分は、ストックオプション権利行使に対して、自己株式を割当てたことにより発生したものです。

# ソリューション別損益の概況

## 2005年度通期

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ネットワークソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
(1) 売上高および営業利益									
売上高	14,383	82.7%	—	3,020	17.4%	—	△ 5	17,399	—
営業費用	10,897	72.2%	75.8%	2,858	18.9%	94.6%	1,340	15,097	86.8%
営業利益	3,485	151.4%	24.2%	162	7.0%	5.4%	△ 1,346	2,301	13.2%
(2) 資産、減価償却及び資本的支出									
資産	4,992	36.1%		1,372	9.9%		7,447	13,812	
減価償却費	43	28.6%		24	16.5%		82	150	
資本的支出	63	15.2%		300	72.3%		51	415	

## 2006年度通期

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ネットワークソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
(1) 売上高および営業利益									
売上高	16,400	86.3%	—	2,610	13.7%	—	△ 11	18,998	—
営業費用	12,325	74.9%	75.2%	2,505	15.2%	96.0%	1,627	16,457	86.6%
営業利益	4,074	160.4%	24.8%	104	4.1%	4.0%	△ 1,639	2,540	13.4%
(2) 資産、減価償却及び資本的支出									
資産	5,868	37.2%		971	6.2%		8,929	15,769	
減価償却費	99	30.8%		132	40.8%		92	324	
資本的支出	342	56.6%		86	14.3%		175	605	

## ソリューション別概況

### CAEソリューションサービス

- ① 制御系、機械系、光学系、エレクトロニクス系の主力ソフトウェアのソリューションサービスは概ね堅調に推移し、それぞれ10%以上の伸びとなりました。特に、フラットパネル・ディスプレイ市場向けの照明解析ソフトウェアならびに輝度・照度・色度測定システムは、年間を通じて大きく伸びました。また、制御系ソフトウェアは自動車制御分野を中心に受注が回復し、堅調な伸びとなりました。
- ② しかしながら、期待した新規ソフトウェアの販売が想定した伸びに至りませんでした。
- ③ エレクトロニクス分野では事業譲受による優秀な人材採用、メカニカル分野では中国子会社との連携により、サービスビジネスを積極的に展開し、サービス収入が堅調な伸びとなりました。
- ④ ケイデンス社製品であるプリント基板設計支援ツールの販売権を取得し、エレクトロニクス分野の強化を図りました。
- ⑤ 連結子会社の可視化ソフトウェアは、上期は伸び悩んだものの、下期に入り受託開発案件及び医療画像処理案件の引合いが堅調に推移いたしました。

## ソリューション別概況

### ネットワークソリューションサービス

- ① 主力のIT資産管理ソフトウェアは、情報セキュリティへの取組みを背景とした需要が一段落し、新規導入が鈍化しました。
- ② 期初計画していたデスクトップ管理ソフトウェアが開発元の意向により販売中止になったことで想定した売上高に至りませんでした。その代替ソフトウェアを取扱うことにより対応を推進しております。
- ③ 業務効率向上支援ソフトウェアは、有力パートナーの獲得はできたものの、CAE及びCAD顧客向けの機能アップ製品のリリースが遅れたことにより、想定した売上高には至りませんでした。
- ④ 連結子会社は大口顧客との取引を失い、当第3四半期以降の売上高が減少しましたが、その代替ビジネスが順調に推移し収益率の改善につながりました。
- ⑤ 日本版SOX法対応支援ツールは、一応の実務指針が発表されたことにより第4四半期は好調に推移しました。

## 四半期別の業績

### 2005年度実績

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
売上高	4,400	(—)	4,173	(—)	3,234	(—)	5,590	(—)
売上高構成比	25.3%		24.0%		18.6%		32.1%	
営業利益	678	(—)	476	(—)	△56	(—)	1,203	(—)
経常利益	710	(—)	504	(—)	25	(—)	1,307	(—)
税引前四半期純利益	710	(—)	497	(—)	23	(—)	1,265	(—)

※ ( ) の比率は前年比ですが、2005年度は連結決算初年度のため記載しておりません。

### 2006年度実績

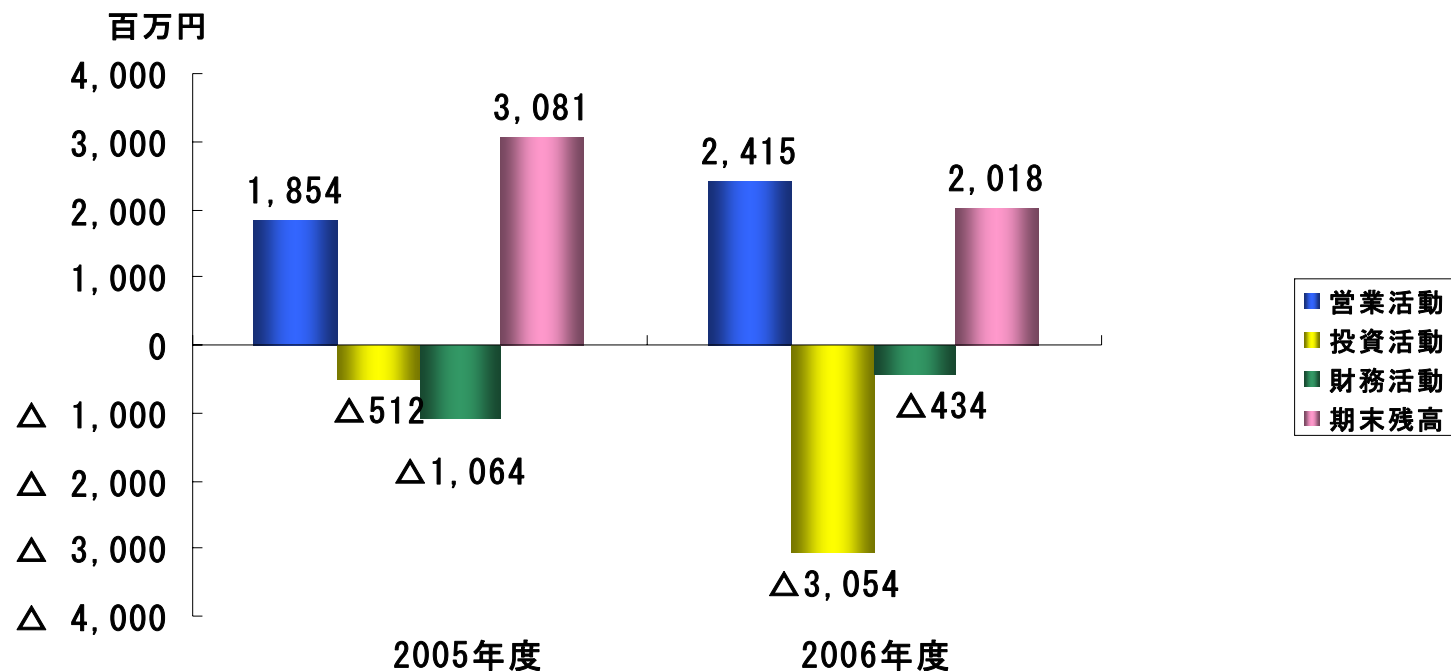
単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
売上高	4,918	(+11.8%)	4,389	(+5.2%)	3,797	(+17.4%)	5,891	(+5.4%)
売上高構成比	25.9%		23.1%		20.0%		31.0%	
営業利益	603	(△11.0%)	485	(+1.8%)	217	(—)	1,233	(+2.6%)
経常利益	633	(△10.8%)	624	(+23.8%)	281	(+989.0%)	1,287	(△1.5%)
税引前四半期純利益	633	(△10.8%)	613	(+23.2%)	285	(+1106.5%)	1,075	(△15.0%)

※ ( ) の比率は前年比

第4四半期の単期前年比は、売上高で5.4%増となりましたが、経常利益、純利益で減少となりました。これは、前年度期末の為替予約による為替差益と、当期における本社移転費用の引当によるものです。

# キャッシュ・フローの概況



営業活動	
税引前当期純利益	+ 2,608
減価償却費	+ 281
のれん償却額	+ 110
本社移転関係費用	+ 178
売上債権の増減額	△ 73
仕入債務の増減額	△ 140
未払費用の増減額	+ 125
法人税等の支払	△ 928

投資活動	
事業譲受による支出	△ 237
無形固定資産の取得	△ 212
資金運用による収入支出	△ 2,424
中国子会社への出資金の支出	△ 80

財務活動	
配当金の支払	△ 458

## 連結子会社の決算業績の概況

(単位：百万円)

	売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比	経常利益	前年比	計画比	当期純利益	前年比	計画比
サイバネット	16,604	113.5%	98.8%	2,543	111.8%	96.1%	2,802	112.0%	104.9%	1,493	102.0%	97.3%
ケイ・ジー・ティー	2,248	80.4%	102.9%	82	79.4%	—	124	114.8%	427.6%	121	120.3%	476.1%
プラメディア	205	240.7%	85.8%	△ 27	—	—	△ 27	—	—	△ 27	—	—

### 連結子会社KGTの業績概況

- (1) 期初に想定していた大口顧客との取引を当下期より失い、売上高では大きな影響がありました。代替ビジネスが順調に推移し、収益の改善を図ることができました。
- (2) 上期で不調であった可視化ソフトウェアは下期に入り、受託開発、医用画像ソフトウェアが堅調に推移しました。
- (3) 日本版SOX法対応支援ツール「Ci-Tower」の販売が好調に推移し、収益率の向上につながりました。

その結果、売上高は前年比80.4%と大幅減収となりましたが、収益率が改善したことにより、経常利益は114.8%と増益になりました。



## 個別業績の概況

# 第22期（2007年3月期）決算概況

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

# 損益計算書の概況

(単位：百万円)

	2005年度 通期	売上比	2006年度 通期	売上比	前年比	計画比	内訳
売上高	14,626	—	16,604	—	113.5%	98.8%	サービス収入+37.7%
売上原価	8,898	60.8%	10,048	60.5%	112.9%	99.6%	サービス原価+26.0%
売上総利益	5,727	39.2%	6,555	39.5%	114.5%	97.6%	
販売費及び一般管理費	3,452	23.6%	4,012	24.2%	116.2%	98.6%	※別シート
営業利益	2,275	15.6%	2,543	15.3%	111.8%	96.1%	
営業外収益	227	—	259	—	114.1%	1036.9%	資金運用利息等+4、為替差益+24、助成金収入+10
営業外費用	1	—	0	—	8.0%	—	
経常利益	2,501	17.1%	2,802	16.9%	112.0%	104.9%	
特別利益	—	—	8	—	—	—	固定資産売却益+8
特別損失	46	—	227	—	488.6%	—	CCA出資金評価損+13、固定資産除却損△40、本社事務所移転費用引当金+178、退職給付費用原則法移行差額+30
税引前当期純利益	2,454	16.8%	2,582	15.6%	105.2%	97.1%	
法人税、住民税及び事業税	978	—	1,242	—	127.0%	130.5%	
法人税等調整額	12	—	△153	—	—	—	
当期純利益	1,463	10.0%	1,493	9.0%	102.0%	97.3%	

## 販売費及び一般管理費の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	2005年度 通期	2006年度 通期	増減	前年比	売上比	内容
人件費	1,578	1,959	381	124.2%	11.8%	増員32名
通信費	138	165	26	119.4%	1.0%	通信インフラ関連+15
旅費交通費	178	218	39	122.4%	1.3%	開発元等への海外出張増加+16、増員による通勤費・国内旅費増加
備品消耗品費	72	91	18	125.8%	0.6%	
募集採用費	67	87	20	130.8%	0.5%	採用紹介料の増加
教育研修費	51	47	△ 4	90.6%	0.3%	
家賃	236	230	△ 5	97.5%	1.4%	
減価償却費	114	103	△ 10	91.1%	0.6%	epiplex独占販売権償却△13
のれん償却	—	43	43	—	0.3%	京浜アートワーク+43
広告宣伝費	448	443	△ 5	98.8%	2.7%	MATLAB EXPO費用△21、Webリニューアル+12
業務委託費	243	264	20	108.3%	1.6%	派遣社員増員、社内システム開発委託費+15
支払手数料	148	186	37	125.6%	1.1%	本社事務所移転関係
その他の経費	173	170	△ 2	98.4%	1.0%	
合計	3,452	4,012	560	116.2%	24.2%	

# 四半期別の業績

## 2005年度実績

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
売上高	3,834	(+9.7%)	3,457	(+4.7%)	2,613	(+3.3%)	4,721	(+1.7%)
年間売上構成比	26.2%		23.6%		17.9%		32.3%	
営業利益	715	(+1.4%)	456	(△15.6%)	△23	(—)	1,125	(△4.8%)
経常利益	750	(△2.6%)	463	(△17.8%)	53	(△11.9%)	1,233	(+1.1%)
税引前四半期純利益	750	(△2.6%)	458	(△18.1%)	53	(△11.3%)	1,191	(+3.1%)

※ ( ) の比率は前年比

## 2006年度実績

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
売上高	4,342	(+13.3%)	3,749	(+8.4%)	3,332	(+27.5%)	5,179	(+9.7%)
年間売上構成比	26.2%		22.6%		20.1%		31.2%	
営業利益	665	(△7.0%)	508	(+11.4%)	242	(—)	1,126	(+0.1%)
経常利益	686	(△8.5%)	639	(+37.8%)	300	(+460.4%)	1,175	(△4.7%)
税引前四半期純利益	686	(△8.4%)	627	(+36.9%)	304	(+467.9%)	963	(△19.2%)

※ ( ) の比率は前年比

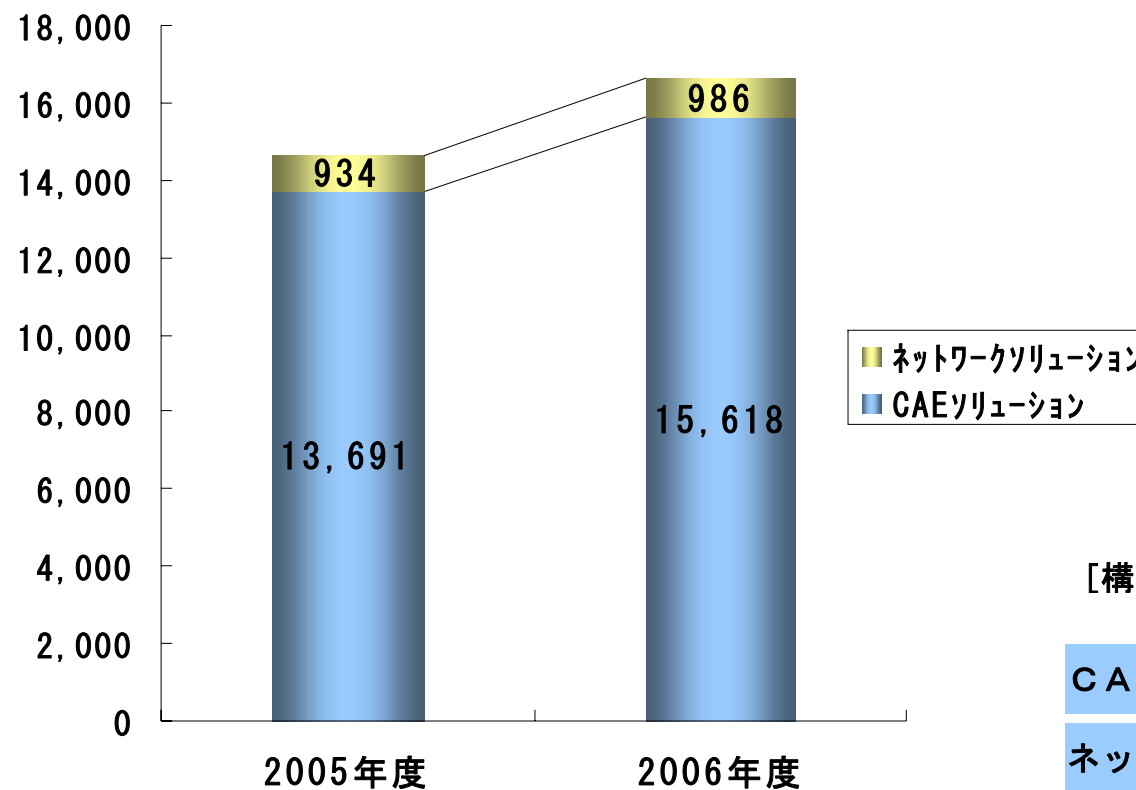
第4四半期の単期前年比は、売上高で9.7%増となりましたが、経常利益、純利益で減少となりました。これは、前年度期末の為替予約による為替差益と、当期の本社移転費用の引当によるものです。

## 利益分析の概況

◆ 売上総利益増加要因（前年比）	
■ 売上高の増加	+ 943百万円
■ 原価率差異	+ 348百万円
■ 為替変動	△ 240百万円
● 為替変動	
✓ 前年比	+ 4.68円/USD
✓ 予算比	△ 0.10円/USD
・ 当期平均レート	116.90円/USD
・ 前期平均レート	112.22円/USD
・ 予算レート	117.00円/USD
■ 技術サービス原価増加	△ 221百万円
● 技術部門増員	+ 14名
◆ 主な営業外損益	
■ 受取利息配当金	46百万円
■ 為替差益	184百万円
■ 助成金収入	10百万円
◆ 主な特別損益	
■ 固定資産売却益	8百万円
■ 中国子会社CCAへの出資金評価損	△ 13百万円
■ 本社事務所移転費用の引当	△ 178百万円
■ 退職給付費用原則法移行時差異	△ 30百万円

# ソリューション別売上高

百万円 前年比 (CAE : 114.1% ネットワーク : 105.6%)



[構成比]

	2005年度	2006年度
CAE	93.6%	94.1%
ネットワーク	6.4%	5.9%

## 業種別売上高シェア

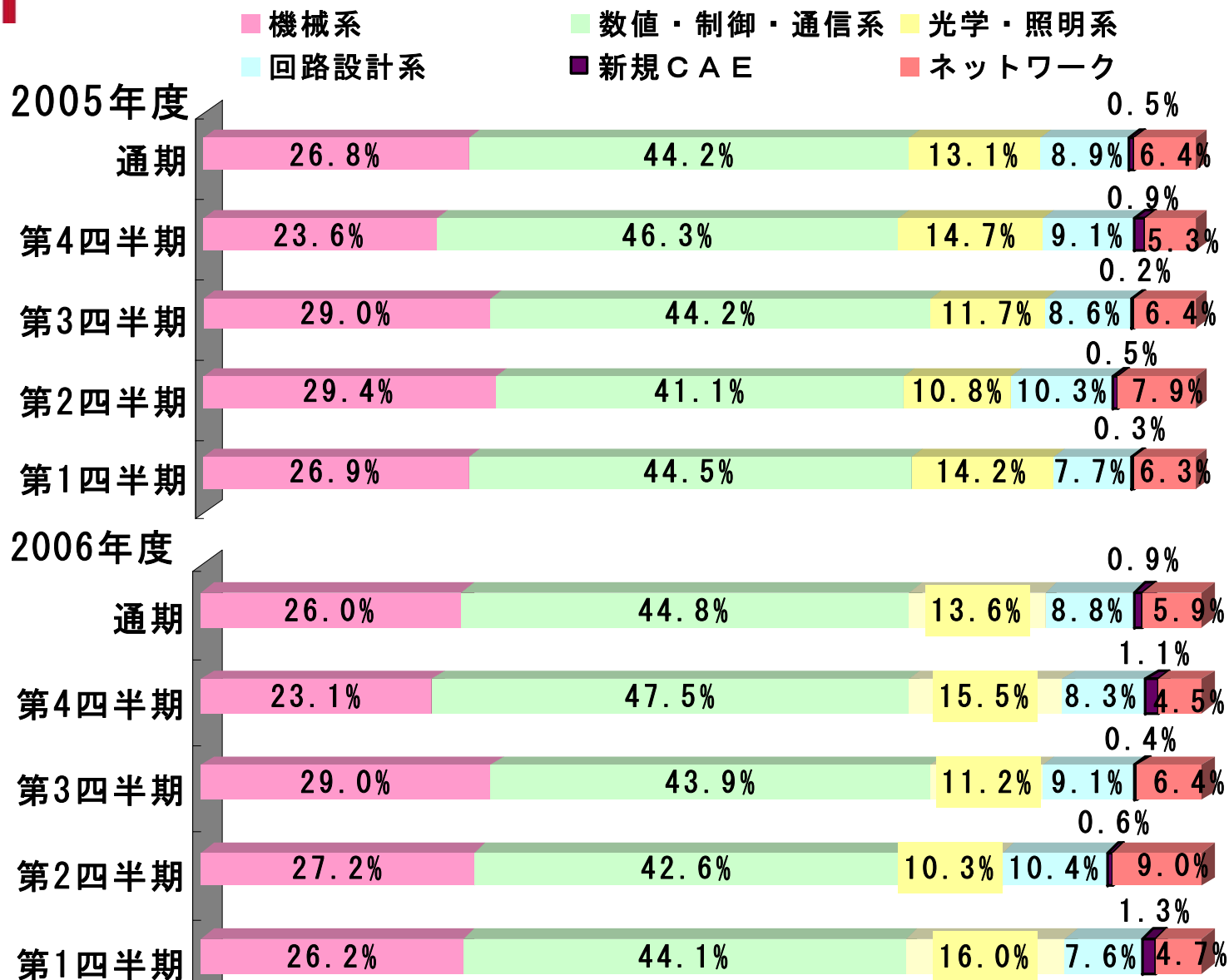
CYBERNET

2005年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
電気機器	35.3%	39.1%	35.2%	36.7%	36.6%
輸送用機器	29.0%	28.2%	24.8%	26.3%	27.2%
機械・精密機器	14.4%	14.4%	15.2%	15.4%	14.9%
教育・研究機関	12.9%	11.6%	8.5%	10.9%	11.2%
サービス	2.2%	2.1%	3.5%	3.3%	2.3%
通信	2.2%	1.8%	2.0%	2.5%	2.1%
化学	2.1%	0.8%	3.4%	2.0%	2.0%
その他	1.9%	2.0%	7.4%	2.9%	3.7%

2006年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
電気機器	36.2%	36.2%	40.7%	36.1%	37.4%
輸送用機器	25.3%	25.3%	26.3%	28.6%	26.7%
機械・精密機器	16.4%	16.4%	12.7%	15.3%	15.4%
教育・研究機関	12.7%	12.7%	11.7%	11.8%	11.6%
サービス	2.0%	2.0%	1.9%	2.3%	2.1%
通信	1.8%	1.8%	1.9%	1.8%	1.7%
化学	2.9%	2.9%	2.8%	1.5%	2.2%
その他	2.7%	2.7%	2.0%	2.6%	2.9%

# 応用分野別売上高シェア

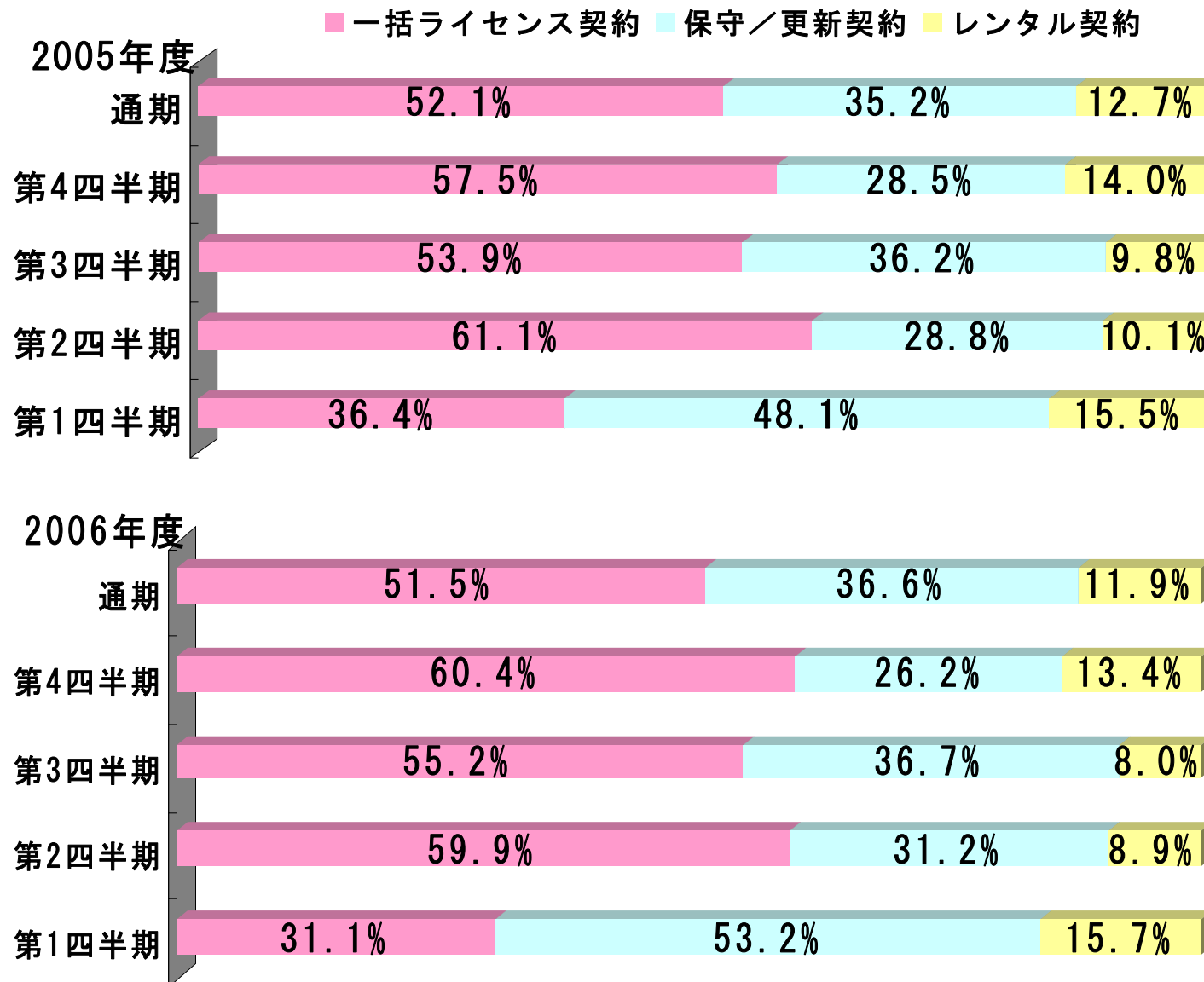
CYBERNET





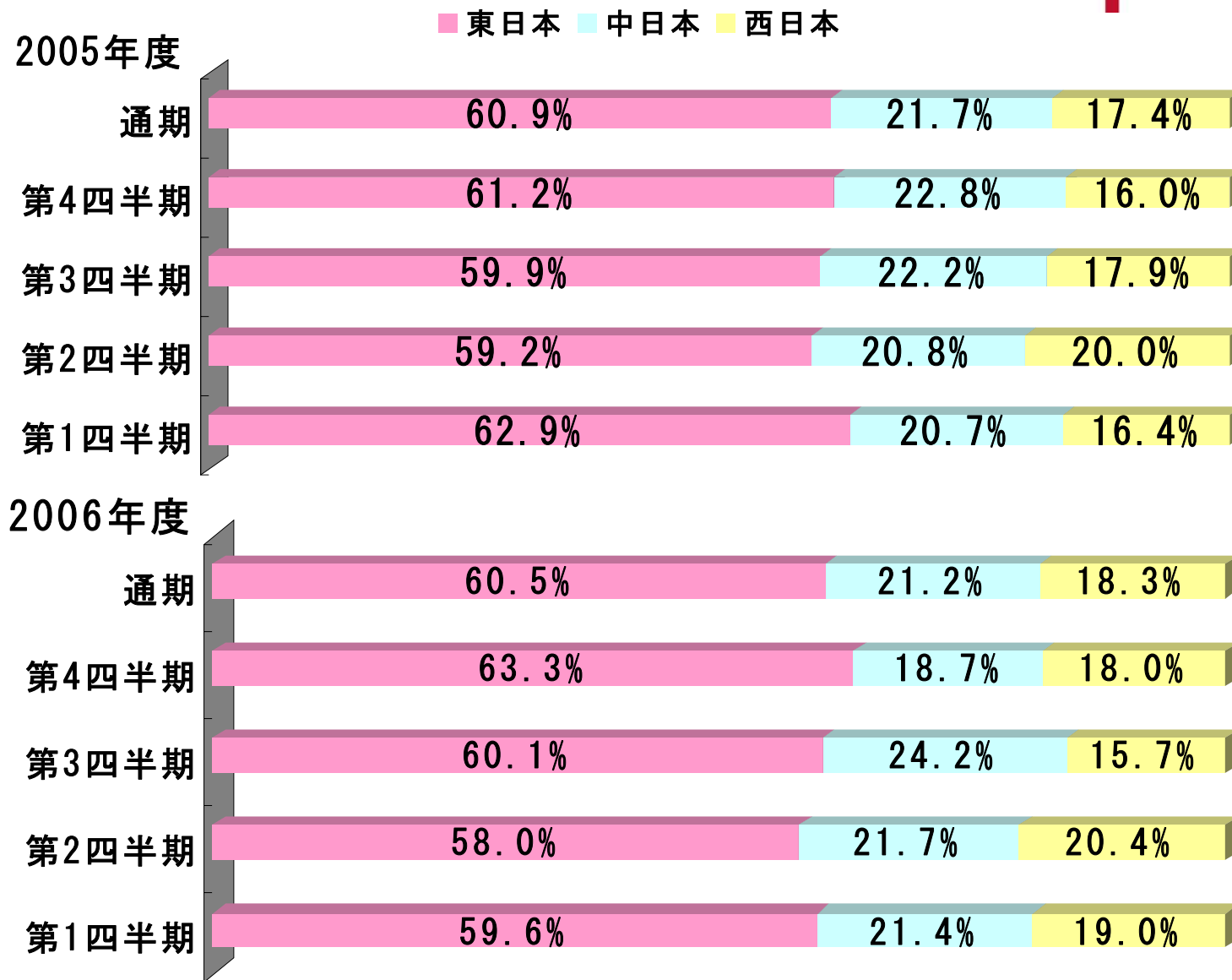
# ライセンス契約別売上高シェア

CYBERNET



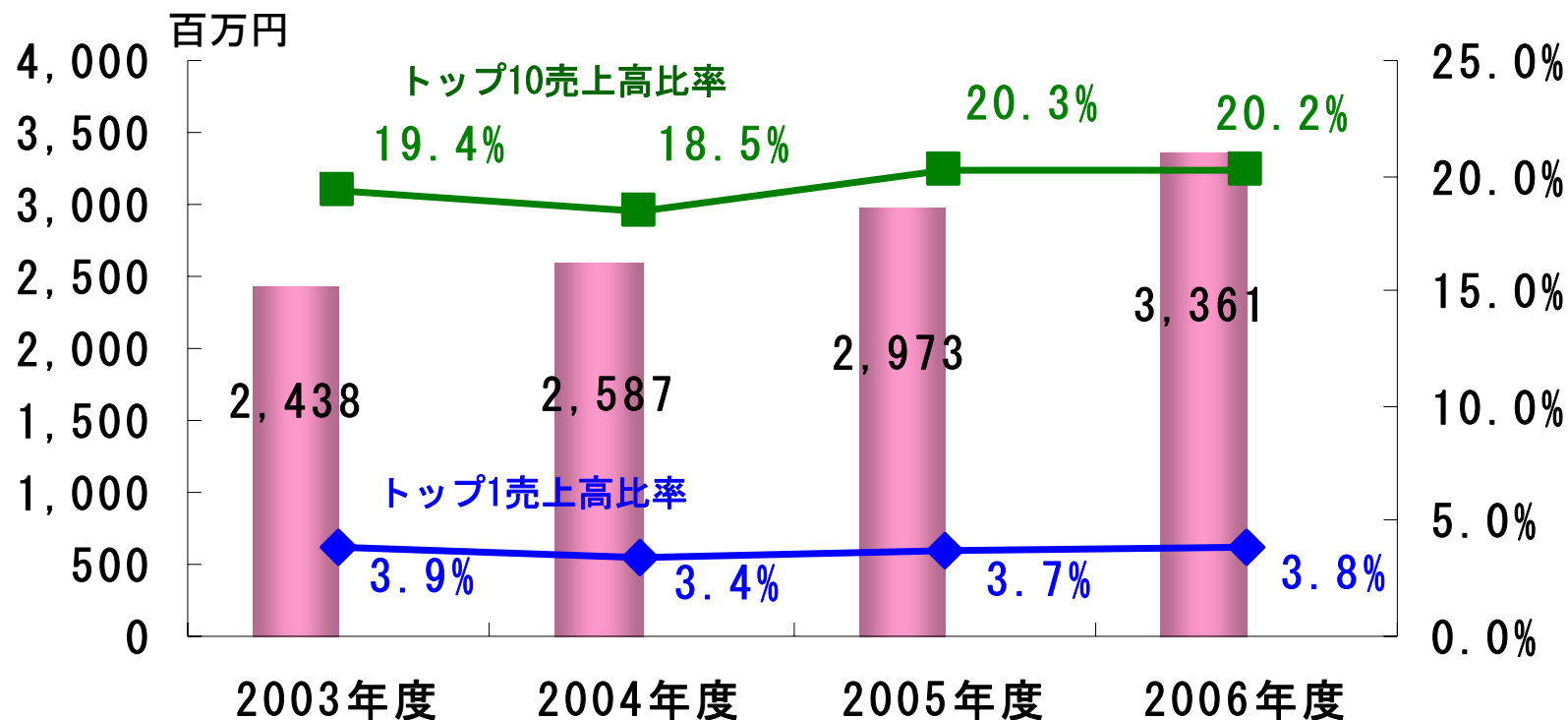
# 地域別売上高シェア

CYBERNET



# 売上高トップ10企業： 売上高、売上高比率、業種

CYBERNET

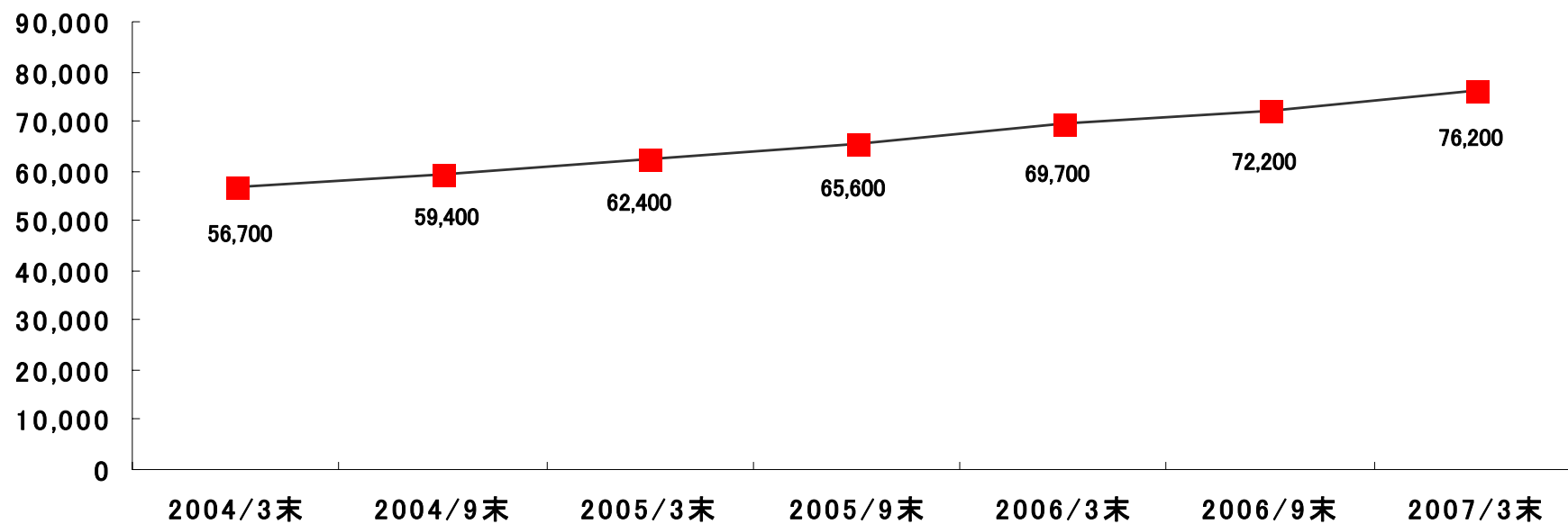


## トップ10業種数

業種	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
輸送用機器	4	4	3	3
電気機器	5	5	5	5
機械・精密機器	0	1	1	1
その他	1	0	1	1

# 契約累積ライセンス数推移

## CAE契約累積ライセンス数推移



## 期末配当金予想の修正（増額）

CYBERNET

	2005年度	2006年度		
	年間配当額	中間配当額 (実績)	期末配当額 (予定)	年間配当額 (予定)
1株当たり配当額	1,450	700	900	1,600
1株当たり当期純利益	4,510.85	2,414.84	—	4,715.06
配当性向	32.1%			33.9%

配当性向は、個別の指標で掲載しております。

※期末配当金につきましては、計算書類の法定監査を経た後に、2007年5月開催の取締役会にて決定する予定です。



# 2007年度（2008年3月期）業績予想

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

## 2007年度連結業績予想

CYBERNET

[中間期]

(単位：百万円)

	2006年度中間期 実績	2007年度中間期 予想	売上比	前年比
売上高	9,308	10,230	—	109.9%
営業利益	1,089	870	8.5%	79.9%
経常利益	1,258	910	8.9%	72.3%
中間純利益	694	645	6.3%	92.8%

[通 期]

(単位：百万円)

	2006年度通期 実績	2007年度通期 予想	売上比	前年比
売上高	18,988	21,500	—	113.2%
営業利益	2,540	2,640	12.3%	103.9%
経常利益	2,827	2,720	12.7%	96.2%
当期純利益	1,516	1,732	8.1%	114.2%

業績予想について

- (1) 当社は、2007年度5、6月に分けて本社事務所移転を予定しております。
- (2) 当業績予想における原価算入の為替レートは、118.00円/ドルです。
- (3) 2007年度の為替予約は、想定送金額の約70%相当額を平均115円台/ドルで実施しています。
- (4) プラメディアは主力製品の開発に注力するため、当中間期において、その業績により株式の評価減をする可能性があるため、中間期業績予想に特別損失270百万円を計上しております。

## 2007年度個別業績予想

CYBERNET

[中間期]

(単位：百万円)

	2006年度中間期 実績	2007年度中間期 予想	売上比	前年比
売上高	8,092	9,200	—	113.7%
営業利益	1,174	1,000	10.9%	85.2%
経常利益	1,326	1,020	11.1%	76.9%
中間純利益	764	488	5.3%	63.8%
1株当たり中間配当金(円)	700	700	—	0

[通 期]

(単位：百万円)

	2006年度通期 実績	2007年度通期 予想	売上比	前年比
売上高	16,604	19,000	—	114.4%
営業利益	2,543	2,660	14.0%	104.6%
経常利益	2,802	2,700	14.2%	96.4%
当期純利益	1,493	1,453	7.6%	97.3%
1株当たり期末配当金(円)	900	900	—	0

業績予想について  
連結予想と同様です。



## 本社事務所移転について

CYBERNET

- ◆ 当社は、業務の拡大に備えると共に、分散している現在の事務所を集約し、社内コミュニケーション向上による業務の効率化を図ります。また、一層のセキュリティ強化を図ります。
- ◆ 移転先の秋葉原地区は、産学共同推進地区として計画され、大きく発展が予定される地域であり、当社の今後のビジネス展開における重要な発信拠点となるべく位置付けております。
- ◆ 平成19年6月開催予定の第22回定時株主総会ならびに取締役会の決議をもって、本店移転手続を開始します。
- ◆ 移転先
  - 千代田区神田練塀町三番地 富士ソフト秋葉原ビル 14階～18階
- ◆ 移転スケジュール
  - 5月21日(月) 一部の事業部門営業開始
  - 5月28日(月) 一部の事業部門及びコーポレート部門営業開始
  - 6月25日(月) 一部のコーポレート部門営業開始 移転完了
- ◆ 家賃
  - 年間家賃の増額 約360百万円

## 2007年度配当金予想

CYBERNET

単位：円

	2006年度	2007年度		
	年間配当額	中間配当額 (予想)	期末配当額 (予想)	年間配当額 (予想)
1株当たり配当額	1,600	700	900	1,600
1株当たり当期純利益	4,715.06	1,558.64	—	4,587.14
配当性向	33.9%			34.9%

2007年度の配当金は、2006年度と同額と予想しております。  
配当性向は、個別の指標で掲載しております。



## 中長期事業計画への取組み状況

つくる情熱を、支える情熱。

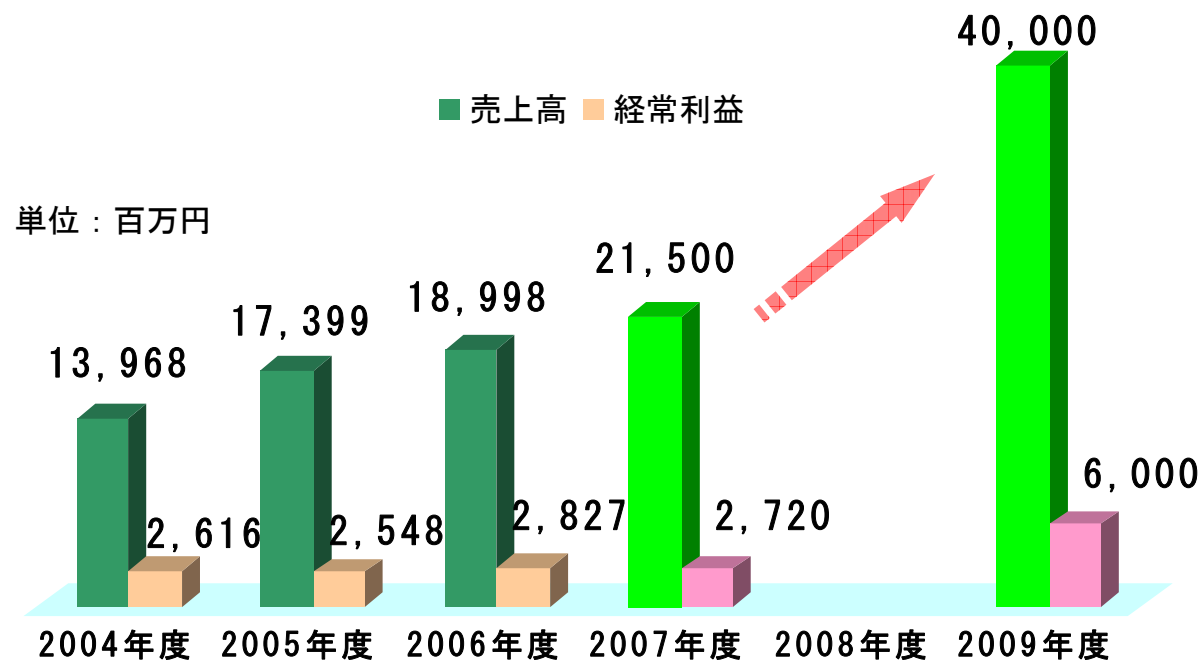
**CYBERNET**

# 中長期計画STEP105(1)

CYBERNET

単位：百万円

	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 計画	2009年度 目標
売上高	13,968	17,399	18,998	21,500	40,000
前年比	111.2%	124.6%	109.2%	113.2%	
経常利益	2,616	2,548	2,827	2,720	6,000
売上比	18.7%	14.6%	14.9%	12.7%	15.0%



## 中長期計画STEP105 (2)

CYBERNET

### 事業分野別売上計画

単位：百万円

	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 計画	2009年度 目標
CAEソリューション	13,046	14,383	16,392	18,700	28,540
ITソリューション	922	3,015	2,606	2,800	4,820
その他					20
M&A					6,620
計	13,968	17,399	18,998	21,500	40,000

2009年度売上目標

サイバネット  
既存子会社4社  
M&A

27,990百万円  
5,390百万円  
6,620百万円

## 進捗状況

### ◆ 新製品・新規応用分野の開拓

- －音響解析ソフト WAON販売開始
- －業務改善ツール epiplexのソースコード利用権購入
- －日本版SOX法対応 内部統制監視ソフト Ci-Towerの販売開始 (KGT)
- －CAE技術研究室の設置により産学協同研究開始

### ◆ グローバル化

- －中国子会社CCA(機械系)の順調な立ち上がり
- －中国子会社CCS(電子回路設計系)設立

### ◆ サービスビジネスの推進

- －メカニカル分野、EDA分野における受託解析部門設置

### ◆ 戦略的M&Aの実施

- －KGTを子会社化
- －プラスチックCAE開発会社 プラメディアを子会社化
- －PCB(プリント回路基板)設計業界の技術者集団京浜アートワークの営業譲受

## 中長期計画STEP105(4)

CYBERNET

### 今後の取組み

#### ◆ 新製品・新規応用分野の開拓

- －マルチプロダクトソリューションの拡大
- －MATLAB周辺ビジネスの強化
- －epiplexのCADユーザへの拡販
- －バイオ分野（創薬関連）の製品充実
- －Ci-Towerの本格展開へ

#### ◆ グローバル化

- －メカニカル、EDA以外の分野でも中国進出を検討
- －中国以外のアジア地区での展開を検討
- －自社開発製品の海外展開
  - ・音響解析ソフト WAON（サイバネット）
  - ・医療画像処理ソフト Real INTAGE（KGT）
- －TechNet、CADFEMとの連携強化による新たなビジネス構築

### 今後の取組み

#### ◆ サービスビジネスの推進

- －PCB分野のコンサルティング、エンジニアリング展開
- －MATLAB関連のプログラム開発、受託解析へ進出
- －CAE Univ. の開設（CAE技術者育成）

#### ◆ 戦略的M&Aの実施

- －今後の成長が期待できるCAEソフト会社への資本参加
- －CAEの周辺ビジネス（実験・計測など）への参入

#### ◆ 人材採用・育成の強化

- －人材開発室の強化



■ 広報室

住所 〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 ニッセイ音羽ビル  
電話 03-5978-5404  
FAX 03-5978-5441  
Eメール [irquery@cybernet.co.jp](mailto:irquery@cybernet.co.jp)  
ホームページ <http://www.cybernet.co.jp>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は、資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。

記載された内容が予告なしに変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**